

<p>しかはま自然観察会</p> <h1>のらえもん</h1> <p>『人も 自然も みんなともだち !』No.6</p>	<p>代表責任者 古高 利男 ☎270-1132 我孫子市湖北台2-14-7 ☎090-7275-9890 2015, 7, 24~26</p>
---	--

第6回活動「夏休みキャンプ体験教室」6回目

・・・登るゾ、武尊山!

昨年は、富士山に挑戦し、24名が登りました。

今年は、キャンプ場の近くにある武尊山(2158m)に挑戦します。

登りながら、回りの動植物や小川の流れにも関心をもっていきます。

が、どんな当日になったのでしょうか?

1, 日時: 2015年7月24(金)~26(日)

3. 場所: 宝台樹キャンプ場

4, 参加者: 家族 6家族 内訳 大人 8

中学生 4

小学生 7

合計 19

スタッフ 4 総計 23

5, 活動の様子

キャンプ場について一番に思ったのは、「地面が湿っている」「草が育っていない」ということだった。まるで、雪解けのような様子だった。雪が多かったせいで、植物の生育が遅れていたのだろうか?

スタッフ3人は、藤原に着いて、まずは挨拶回りから……。ダムの入りに近くに住み、なにかと便宜を与えてくれる阿部さんへ行く。快く迎えてくれて、気持ちがいい!次は、のらえもんの定宿にしている関ヶ原へ向かう。女将さん、若奥さん共に、笑顔で迎えてくれる。30人ほどが宿泊するのだという。古民家に寄って、使えそうな食器・鍋・バケツ・お玉などを持ち出す。なるほど、ここに置いておけば、こうやって利用できるのだ。初めて、古民家を利用した気分になった。今までは、かたづけたり補修したりするばかりだったので……。

キャンプ場に着くと、一つだけ弾んだ気持ちがあった。それは、キリンの助成を受けて購入した四季用テント……ダンロップV-6が待っているはずだった。佐川急便で前々日に送り、「たぶん着きます」との確約をもらったのだから……。送料は1196円だった。管理事務所の受付へ行き、「テント、ついていますね!」というのと、「そんなの、まだ、着いていないね。夕方4時過ぎじゃないかな?」と、期待はずれのことをいう。「それはないだろう」と思っても、テントが着いてないのだから、待つしかない。手続きをしたり、お昼を食べた

り、バス停に着いた上田家族3人を迎えに行ったりしていると、3時過ぎに「着きましたよ！」と連絡が入った。

ダンロップV-6は、ひじょうに優れている。さすが、山用だ。軽く（わずか4kg）すぐに張れる。風雨の対策も十分だ。それに、室内も広い。張り終わったら、すごい安心感が漂ってきた。キャンプ場に来ると、テントを張らないと、気分が落ち着かないのは誰しもではないだろうか。

他の家族が到着し、だんだんとキャンプ場の雰囲気盛り上がってきた。

今回の主な目標は

- 1日目：グループで、かまどを使い、カレーライスを作る
- 2日目：“登るゾ、武尊山！”の気合いを入れて、ここ藤原の主峰であり日本100名山でもある武尊山のピークに立つこと。去年の富士山登頂に続け、というわけだ。
- 3日目：草木染めをすること。地元のしそを使って、野外でTシャツを染めてみよう、それを着て帰ろう！

それぞれの様子は・・・。

- 1日目：グループで、かまどを使い、カレーライスを作る
去年の反省から生まれた計画だ。自分の食料は、自分で調理をして食べる。これはどんな場においても、生活の基本であろう。子どもたちが興味を示したのは、火起こしであった。かまどに薪を入れ、火をつけようとするが、なかなかつかない。家でガスのスイッチをひねるのとは大違いだ。マッチを擦るところから、危うい。やっと火がつき、燃え上がると、枯れ枝まで拾ってきてどんどんくべる。枝をのこぎりで切ったりすることも、いとわずにする。火を見ると、大人はもちろんのこと子どもも興奮するようだ。野菜を切るのをそっちのけで、かまどのまわりで声をかけあっていた。煙がもうもうと上がり、そこに鍋をのせるものだから、鍋はすぐに真っ黒けになってしまう。「炭火のようにしないと、火力がなく、鍋だけが黒くなるんだよ」と、料理人の山口さんがアドバイス！そうか、まずは薪をくべ、どンドン燃やして煙の出ない状態で鍋をかければいいんだな、と気づく。鍋を真っ黒にしながらも、出来たカレーライスは、最高においしかった！！

明日の登山の打ち合わせをして、10時前にそれぞれのテントに帰る。

今日の目標は、火おこしから野菜切りまで、子どもたちはおおいに力を発揮してくれた。やはり、興味があるんですね。このような場所でないと、できませんから・・・。

- 2日目：“登るゾ、武尊山！”の気合いを入れて、ここ藤原の主峰であり日本100名山でもある武尊山のピークに立つこと。
昨夜は、残ったご飯でおにぎりを作った。映美さんが、梅干しをいれてラップでていねいにくるんでくれた。それを持って、予定通り出発した。
6：00、武尊神社前の登山口発 参加者は16名（大人7，子ども9）
林道を歩く。林道なのに、車が入ってくる。「禁止じゃなかった

の？」と、でも途中までOKでした。山あじさいの花、黒文字の青い実を見つける。

7:00 剣が峰分岐に、予定通りに到着。

水たまりに山アカガエルのオタマジャクシがいた。それを見つけた子どもたちは、輪になってオタマジャクシと遊ぶ。子どもは、動くものが好きだなー！近くの草むらに、親ガエルがいた。

ここからが、本格的な登山道だ。水を飲んだり、食べ物を少し口に入れたりして、気合いを入れる。3回ほど沢を横切りながら、稜線を目指す。

8:50 暑い！着かない！疲れる！傾斜が急になる！予定を1時間オーバーして、ようやく「手小屋沢避難小屋」の標識のある稜線に出た。みんな疲れ切った表情だ。

このパーティーの様子だと、予定であと5時間の山道は無理と判断した。手小屋沢避難小屋へ降り、ゆっくり休むことにする。

案の定、疲れた子どもたちは小屋に入り寝ころんでいる、初めてのらえもんに参加した女の子は、小屋前の石の上に座ったままだ。でも、ここまでよくがんばってくれた！

春日さん・松下さんは、疲れを癒すために、コップェルとガスを取り出し、ラーメンを作ってくれた。子どもたちに大好評で、食べた子は元気を回復したようだった。おにきりを食べる人は、誰もいなかった。

ここの避難小屋まドーム形で、豪雪に耐えられるようにしてあるという。近くに手小屋沢があり、きれいな水に浸かって一時の涼しさを楽しんだ。トリカブトがつぼみをつけて、大きく繁っていた。

約1時間30分の休憩。

10:15 出発

稜線までの、登りがけっこうきつい！

ブナの大木がたくさんあることに気づく。「こんなところを登ってきたんだ」と見下ろすと、なんと、とても急斜面ではないか！「良く登ってきたなー」という思いに浸っていると、春日さんがバランスを崩して3回転で登山道へ！ケガにつながらなくて、良かった！

直径30cmもある大きなキノコを見つけた。写真に収めてこようとして近づくと、傘の縁に15cmもありそうなヤマナメクジがいた。でかい！キノコもナメクジもでかかった！

回りを観察できる余裕があり、下山は45分程だった。

11:00 剣が峰分岐発

また、オタマジャクシを見る子どもたち。

ここからは広い道。早い
11:20 駐車場に到着！お疲れ様でした。

キャンプ場には、お昼頃到着。

疲れたためか、みんな、思い思いにりらつく。3時過ぎになると元気回復！
「お腹、すいたー」という声で、バーベキューの準備。4時になると、今回の大きなイベント「魚つかみ」が始まった。30匹のニジマスが放された。大人も子どもも、裸足になって魚つかみ！「冷たい！」とひるんでいた人も、その冷たさを忘れて「つかまえたー！」「ここにいるよー！」「二匹目！」「まだ、つかまえられない・・・」いろいろな歓声のあがる「魚つかみ」でした。バーベキューの炭火の上には、ニジマスが仲良く並んでいました。ムニエルにもしました。どれも美味しく、すぐに無くなりました。

今夜は、少しだけ遅くまで起きて、みんなでお話をしました。

- 3日目：草木染めをすること。地元のしそを使って、野外でTシャツを染めてみよう、それを着て帰ろう！

関ヶ原へ挨拶に行ったとき、「しそは、とれますか？」「な～にも、ないよ～」という。やはり、標高800位の差がでるのかな・・・？我が家の方では、梅干し作りにあわせて7月からスーパーに並んでいるのだが・・・。

というわけで、草木染めは中止となった。

野外で、大胆に作業することに挑戦してみたかったのだが・・・。機会をつくって、古民家でやってみよう。

なお、草木染めについては、2016年2月20（土）に、鹿西小でハンカチを染める予定である。

今回のキャンプで一番気づいたことは

「あるものを利用することの意義」

についてである。

都会と違うキャンプ場に到着しているのに、発想は都会寄りに傾いてしまっているのだ。不便さを、自然の中にあるもので解決していこうとする行動力の必要性を強く感じた。

①木の枝の利用

薪の不足分は、キャンプ場にたくさん落ちている木の枝や松ポックリを利用することが出来る。カレーライス作りのとき、子どもたちが木の枝を拾ってきて、のこぎりで短くしようとしていたこと、薪の追加分を購入しなかったことは評価できる。

②冷やす

炊事場の水道水で、スイカ・ウーロン茶・ビールを冷やした。自然な冷え方で、十分に満足いくものだった。

氷や冷蔵に、こだわることはないだろう。

③虫探し

男の子は、虫かごをかかえて虫探しに興味を持った。ねらいは、クワガタムシだ。トンボやチョウチョにも親しみをもつようだが、クモ・ミミズ・毛虫などには「きもちわる〜い!」となるようだ。

いろいろな虫についての知識と理解を深め、観察しながら「こういう働きをしているんだ」「こんな特性があるんだ」と思い出してもらえるようにしていきたい。

④植物の観察

いろいろな植物を身近にたくさん接することができる。だから、一度は、みんなで観察する時間をとりたい。目に付く木や花・実だけでなく、小さなキノコ・コケ・カビ・落ち葉・土の中、そして石や地層にまで目を向けられるようになるといいな!

⑤箸

避難小屋でラーメンを食べるとき、箸のないことに気づいた。山口さんが、ササの茎を切り取って箸にしてくれた。割り箸を思い浮かべてしまうが、回りを見渡せば箸になりそうなものはたくさんある。ただ、毒のあるものには注意だ。

⑥トイレ

山登りで、一番困るのがトイレの心配だ。へびなどのいない好条件場所を見つけたり作り出したりして用を足すことは、許されるだろう。終わった後は、まったく分からないようにしておくことだ。「キジを撃ちに行く」「花を摘みに行く」という言葉を隠語として使われている。

⑦白樺の中の木漏れ日

キャンプ場は、白樺の中にある。その木漏れ日と微風は、心地よい!そんな中で本を開き、傍らにコーヒーがあるのはどうだろう。のんびりゆったりした時間の中に浸ることは、最高の贅沢かもしれない。

⑧風呂

シャワーがある。風呂もある。温泉でなくても、使いづらくても、「なにがなんでも」ということではなくて、その場の流れに合わせることもキャンプ場の流儀かもしれない。水道はあるのですから、行水だってできるんですね!むしろ、水を使えることのありがたみを感じたいですね。

⑨歩く

武尊神社からの林道を歩いていると、何台もの車が通りすぎていく。ここから歩いて30分ぐらいの所に、駐車場があった。以前は、禁止されていたのだが……。歩いている人は「楽でいいな」うらやましがり、車に乗っている人は「早く着く。早く登れる。」と優越感があるのだろうか……。歩くために山にきていることを、忘れてはならないだろう。歩くことで、見えてくるものがたくさんある。林道を歩きながら、黒文字の緑の実・青い花のあじさいらしいもの・キツリフネソウ・ホタルブクロ・トリアシシヨウマ・フキ・トリカブトのつぼみ・苔むした砂防ダム・深い谷を流れる沢・イタチ(?)の糞、そして仲間との会話・気遣いなど、たくさんのごとに「出会え」るだろう。

⑩場所に合った服装と準備

山登りのための靴は大重要！泥と石の多い所を何時間も歩き続けるのですから、それに適した靴を用意すべきです。晴れていれば、スニーカーでも登れる場合がありますが・・・。リュックは必需品です。両手をフリーにしてくと、安全性が増します。バランスが良くなり、楽です。雨具も必ず用意したいですね。

リュックを背負いながら水筒は手に持っている、という姿を良く見かけますが、水筒はリュックの中に入れ背負うことがベストです。水を飲む時は、全員が休憩し、リュックをおろすのですから。

私の思いをまとめてみました。のらえもんのみなさんには、楽しく安全な野外活動をしてもらいたいと、常に思っています。

6, 親と子の、いきいき感想

○ 山登りがつらかった。

虫が思ったより多かった。

でんぱがとどかなくて不便。

山登り 足こしいたくて とてもつらい

関原小6年

○ もう山はのぼらない。

キャンプはたのしかった。

火おこしがたのしかった。

鹿浜中2年

○ たのしい、たのしかった。

火あそび、おもしろかった。

水あそびもたのしかった。

鹿浜五色桜小4年

○ この三日間で感想に残ったことは

一日目の夜です。ねるときにいびきがとてもうるさかったです。

二つめは、山登りです。上まで行けなかったが、とてもいい筋トレでした。

三つ目は、虫取りです。いろいろな虫がいたのでおどろきました。でも、山登りのとき、ハチがいたので、虫はにがてです。

四つ目は、みんなと遊んだときです。みんなと遊ぶととてもおもしろいからです。

今度は、古みん家でキャンプをするので、楽しみです。

夏休み 宿題いっぱい 大変だ

第7中1年

○ きノウ、クワガタみつけて うれしかったです。

北鹿浜小1年

○ 魚のつかみどりは、めっちゃぬるぬるしてた。一匹つかまえられた。

川の水が冷たくて、楽しかった。

マウンテンバイク、坂きつくてつかれたけど、帰りは涼しかった。

川遊び ぬれてもぬれても すぐ乾く

鹿浜中3年

○ 山のぼりがきつかった。

さかなが岩のすきまにかくれていて、とりずらかった。
川あそびが楽しかった。

山のぼり いっぱいつかれた 山のぼり

鹿西小3年

○ やきとりとか、食事うまかった！

魚つかみとか、ぬるっとしてた

山のぼりは、少しだけつかれた。たくさん歩いた。

5時おきで、ねむくて昼寝しちゃった。

マウンテンバイク、楽しかった。坂がめっちゃ大変だったけど、下り坂はめ
っちゃすずしくてきもちよかった！夜遅くまでおきて、大人の中に一人子ど
も、たのしかった。

横浜市末吉中2年

○ 山をのぼれなくて、ざんねんでした。

魚つかみで、10匹つかまえられて、よかったです。

山のぼり のぼれないけど たのしかった

鹿浜五色桜小4年

武尊山に登るため、登山経験豊富な松下様をお願いして、来て頂きました。

キャンプに参加して

松下 英治

参加させていただきありがとうございました。感想をいくつか・・・。

あの山道に「1年生が挑戦」にビックリしました。時間があれば、頂上まで
行けたでしょう。

道としては、富士山よりきつい。下って、最後の平坦な道では、さすがに疲
れたようでしたが。

「もう山は嫌い」と言っていましたが、時間が経てば、きっと登りたくなる
でしょう。

ノコギリで木を切ることに興味を持ち、使い方を教えると上手になり、何本
も切りました。普段ではなかなか出来ない経験だったのではないですか。火お
こしも同じです。

具体的な生活行動に興味をいただき実行したところが良かったと思いました。

お皿洗いやテーブルの片付け、そういうことまですると、キャンプ生活の主
体者になれると思います。